

里見

創作
狂言

第一部

レクチャー&

デモンストレーション

解説／小笠原匡

狂言「鐘の音」

出演／小笠原匡 野村万緑

第二部

創作狂言「里見八犬伝 其ノ零」

作・演出／小笠原匡

制作協力／千葉大学

出演／小笠原匡 野村万緑

加藤充華 神宮一樹

狂言体験講座参加者

青山郁彦

TAKAKO

若菜の会

千葉大学学生

見る、知る、伝える千葉



犬

伝

——「勸善懲惡」って何だ。——

平成28年12月11日(日)14:00 開演

千葉県文化会館 小ホール

※13時より座席引き換えを行います
※未就学児の入場はご遠慮ください

全席自由 2,000 円 学生 1,000 円 (税込)

インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>

千葉県文化会館 043-222-0201 千葉県東総文化会館 0479-64-2001

主催 千葉県文化会館
(公助) 千葉県文化振興財団

後援 千葉県 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会

館山市教育委員会 南房総市教育委員会

運営 見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

助成 芸術文化振興基金

チラシデザイン 千葉大学工学部2年 本間 達

其ノゼロ

エピソード

ゼロ

八



facebook



千葉県文化振興財団

第一部	レクチャー& デモンストレーション 講師 小笠原 匡	狂言についての知識や演技方法を、実演を交えながら解りやすく説明します。狂言については、歴史、簡素な舞台の意味など、演技方法については、道行き（場面が変わるときに用いる）・擬音（効果音、動物の鳴き声などの表現）・小道具（扇の使い方）など、狂言の独特な約束事をお話しします。 今回は特別に、会場の皆様と一緒に「笑い」や「泣き」など喜怒哀楽の表現を楽しく体験していただきます。
	狂言「鐘の音」 シテ 太郎冠者 小笠原 匡 アド 主 人 野村 万禄	息子の元服の祝いに黄金の太刀を贈ろうと、主人は太郎冠者に、鎌倉に行って「金の値」を聞いてくるようにと申しつけます。太郎冠者は、それを「鐘の音」と勘違いし、鎌倉の寺々をめぐり、「鐘の音」を聞き比べてきます。早速、主人に寺の「鐘の音」の特徴を報告しますが、主人は怒り出して…。
第二部	創作狂言「里見八犬伝 其ノ零」 エピソードゼロ 小笠原 匡 野村万禄 青山郁彦 TAKAKO 加藤充華 神宮一樹 若菜の会 千葉大学学生 狂言体験講座受講者 作・演出・語り部 小笠原 匡 制作協力 千葉大学	室町時代末、結城合戦に敗れた里見義実、安房（千葉県南部）に落ちのびてきます。山下定包やその妻玉梓を成敗し、滝田城主となった義実ですが、隣国館山城の安西景連に攻め立てられ窮地に陥り、愛犬八房に「敵将景連の首を捕ってきたら娘の伏姫を嫁にやる。」と戯言をいいます。見事敵将の首を捕って戦いを勝利に導いた八房は、約束通り伏姫を連れ、富山の洞窟にこもり暮らすのですが…。 原作は、江戸時代の後期、読本作家曲亭（滝沢）馬琴によって著された『南総里見八犬伝』です。98巻 106冊にわたる大長編のため、創作狂言化するにあたりシリーズとし、本作はその第一弾として上演します。



作・演出 小笠原 匡 和泉流狂言師

1965年東京生まれ。初世野村萬（文化功労者・芸術院会員・芸団協会長・人間国宝）、故8世野村万蔵、9世野村万蔵に師事。すでに狂言の大作である「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。また、新作狂言「鉢かづき」「新千葉笑い」「光源氏」等の作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍ん」「石川五右衛門」等を作・演出する。愛知万博開催記念特別公演「ふるさとの四季」や「平成版・阿国歌舞伎」作・演出・主演。

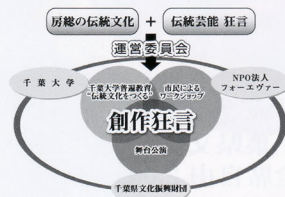
2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。2007年には「狂言と鼓童のコラボレーション・蓬萊貴譚」を作・演出する。2013年秋放送NHK朝の連続テレビ小説「ごちそうさん」でも所作指導を担当。2016年よりフランスにて定期的な日本伝統芸能普及活動を開始。現在、萬狂言関西支部代表、重要無形文化財総合指定保持者、(社)日本能楽会会員、(公社)能楽協会会員、千葉大学客員教授。ホームページ <http://www.atelier-oga.com/>

「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト

古くて新しい伝統文化への取り組み

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原匡、千葉大学、千葉県文化振興財団、市民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼來迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



千葉県文化会館交通案内

〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL 043-222-0201 FAX 043-227-0763

【JR千葉駅より】

- ・京成バス⑦大病院ゆき乗車約10分
- ・郷土博物館・千葉県文化会館下車徒歩約2分
- ・千葉都市モノレール乗車約6分
- ・県庁前駅下車徒歩約7分

【JR内房線・外房線 本千葉駅より】

徒歩約10分

